

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	交野市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年2月21日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年2月21日		～ 令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用のお子さんだけでなく親子療育を実施するとともに家族支援を実施しており、当センターだけで対応が難しい場合は他機関と連携して支援できるようにしています。	療育を受けるお子さんだけでなく、日々一緒に過ごすご家族への支援を心掛けています。 困った事や、悩んでいる事をすぐに相談しやすい環境や時間を設けて、お家でもできる事を提案させていただいています。 保護者が疲れている時は、子どもの安全面の確保をした上で預かりもしています。	個別でお子さんの今の様子や育児の悩みなどについて、今後懇談する機会をさらに増やしていきたいです。 保護者が話しやすいように寄り添いながら支援を継続していきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会をもっています	交流保育・給食参加など行っています。	こどもの発達状況に合わせて回数を調整していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい預かり支援がない	本児が利用する場合、きょうだいを当センターで預かれないため、有料の保育サービスか認定こども園への預かりしかない。このため、利用を躊躇する保護者がいたり、園が休みの日は利用できない利用児がいる。	きょうだい預かりになった場合の人員配置。
2	送迎サービスがない	送迎サービスがないため保護者が送迎しなくてはならない。車の運転ができない母親が妊婦となった場合、辞めざるを得ない。	タクシー利用券の提供 公共バス利用案内
3			